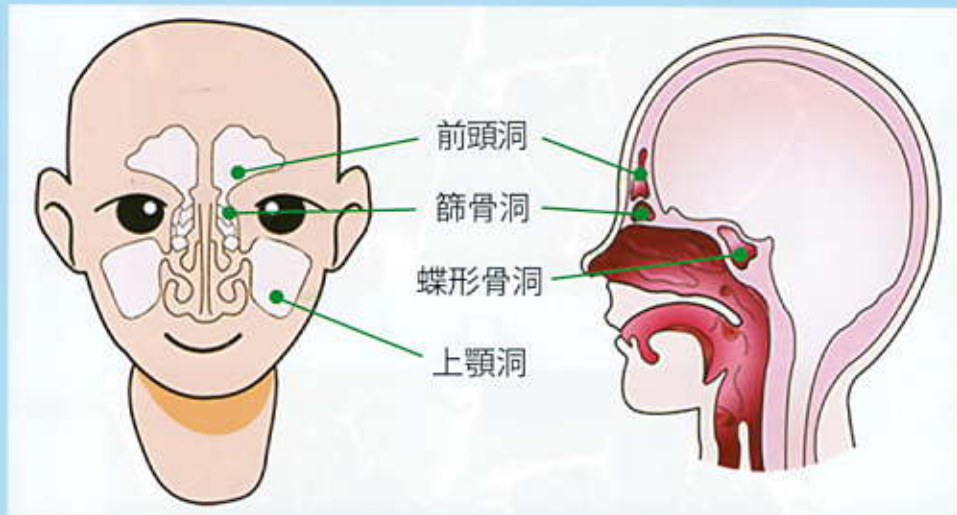


副鼻腔炎と喘息

8月7日は鼻の日です

副鼻腔炎とは？

鼻の奥（頬、両眼の間、額）に存在する副鼻腔に炎症のため膿がたまる病気です。粘調な鼻水、鼻づまり、頬部や額の痛み、頭痛、後鼻漏等を引き起こします。



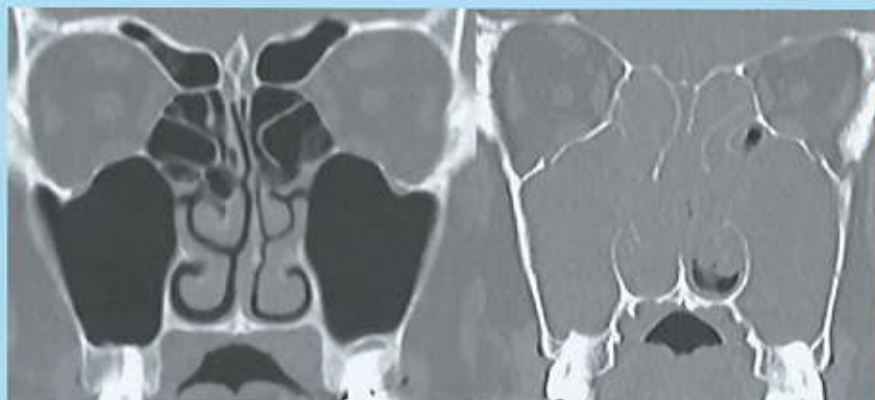
（副鼻腔には前頭洞、篩骨洞、蝶形骨洞、上顎洞があります）

後鼻漏とは？

後鼻漏は鼻水がのどや気管に流れ込む症状です。後鼻漏によって気管や肺に炎症を引き起こすことがあります。

副鼻腔炎の診断

X線やCT検査にて副鼻腔に異常所見があるかどうかを調べることで、副鼻腔炎の有無がわかります。



正常

副鼻腔炎

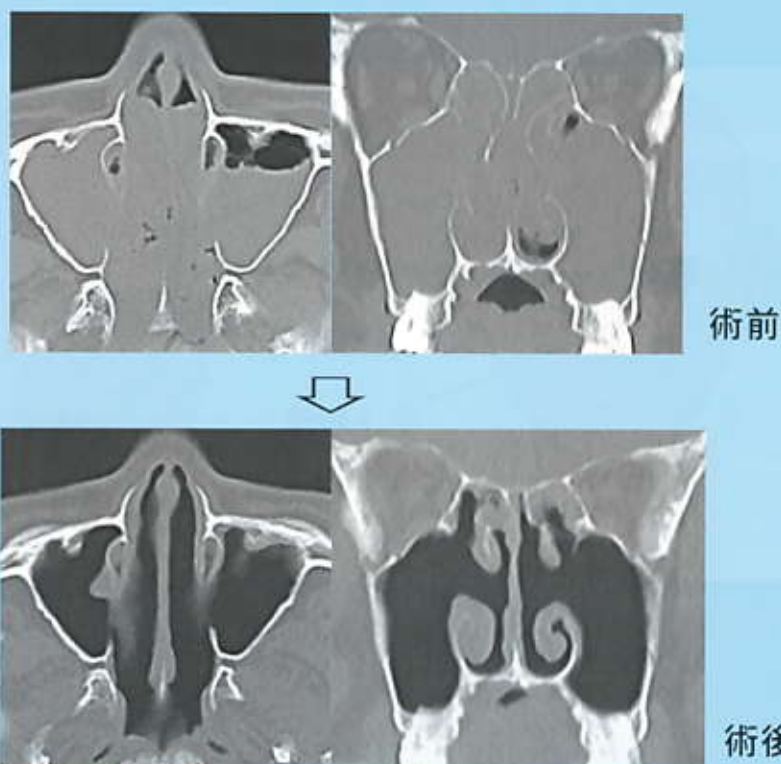
（副鼻腔のCT画像です。正常の副鼻腔は黒く、副鼻腔炎では白く写ります）

副鼻腔炎の薬物治療

抗菌薬を中心に治療します。特に、ニューマクロライドという抗菌薬を少量長期間投与する治療が行われます。他に、去痰薬、抗炎症薬等の薬剤も用いられます。

副鼻腔炎の手術治療

薬物療法にて改善しない場合には、内視鏡を用いた鼻内手術を行うこともあります。



(術前後の CT 画像です。術前の副鼻腔は白く写っていますが、術後は黒く写っており治療しているのがわかります)

喘息とは？

ダニ等のアレルゲンによって引き起こされる気管や肺の炎症です。咳や呼吸困難等の症状を引き起こします。

副鼻腔炎と喘息

副鼻腔炎と喘息は共に関係があることが以前より指摘されています。例えば副鼻腔炎に罹患している方は喘息を患うことも多く、また逆に喘息に罹っている方は副鼻腔炎を合併している割合が高くなります。さらに、副鼻腔炎が悪くなると喘息も悪化すると言われています。

喘息を患っている方で副鼻腔炎の症状がある方は、耳鼻咽喉科医の診察を受けることをおすすめします。